

## いきものみっけファーム推進協議会設立に向けて

11月16日、日本環境協会、協力企業・団体、行政、地元農家の参加のなか「いきものみっけファーム滋賀」の設立準備会が開催されました！推進協議会設立に向け多くの議題を協議・承認していただき、和気藹々と充実した準備会を終える事ができました。

今回、広島県から「いきものみっけファーム」を取組もうと考えておられる企業の方にはオブザーバーとして参加していただきました。そして、翌日17日。は昨日もお世話になった(株)サンワイズの吉田氏を講師に、「食物に良い土作り」の勉強会（営農指導）を開催させていただきました。

内容として、

日本における肥料の5要素(チッソ・りん酸・カリウム・石灰・マグネシウム)であり、根の発育を促すのは、チッソ・りん酸、カリウムであること。

有機肥料とは、堆肥などの自給肥料や魚肥、油粕、骨粉などの動物原料としているが、有機肥料は、自然由来の肥料であるために食物がすぐに吸収される形になっておらず、土壌内でゆっくりと食物が吸収できる形になっていくために散布してから効果がでるまでに時間がかかること。

“米の精”とは、特殊精米法で加工されたBG無洗米から取り除かれる肌ヌカ(米ヌカ)の部分ことである。肌ヌカには多くの栄養分が含まれているが、米を研ぐときに出されるとぎ汁として捨てられてしまっている。また、この米のとぎ汁は、環境(水質)に良くない。“米の精”を土壌に投入することにより、土壌内の微生物のえさになり、微生物が活性化され、作物の欲している栄養素を微生物が作り出す。“米の精”は、化学肥料をうまく利用して、痩せてしまった土壌を本来の形にして、かつ米の旨みを出したり、栄養価の高い安心な作物ができる土壌改良剤でもある。

米のとぎ汁は、大量の栄養分が(含まれているにも関わらず、多くの硝酸態チッソが含まれており、家庭排水から流れ出ると河川への流出から赤潮・アオコの発生の原因となり、生態系に影響を及ぼす。米の精としての有効活用

“米の精”は、土壌に投入後、追肥を必要としない。米の精自体が起爆剤となり、土壌内の微生物を活性化し、作物に必要な栄養素を活性化した微生物が作物に補給していくからである  
などなど……。

農業をしていない私には、難しい内容もありましたが、みなさんは熱心に聴いておられました。これからも、秋田の吉田さんに吉田塾として営農指導に来ていただく予定です。



12月22日(土曜日) 10時～  
続きは 記念講演会 (吉田塾)

ダイヤモンド滋賀ホテル

12時～  
いきものみっけファーム滋賀  
推進協議会設立総会

## いきものみっけファームでの芋ほり

10月27日

ダイヤモンド滋賀下の畑での収穫。小さなお子様も参加し、子どもの顔ほどの大きなイモを掘り出しました。なんと、米の精を投入した畑とそうでない畑ではイモの大きさがずいぶん違いました。収穫できることは楽しいですね。予想以上に収穫できたために、芋ほり前後の準備に大人たちも頑張りました。



## やまびこ文化祭での出店(大学芋と焼きそば)

11月23日

地元山内での、市民センター企画の文化祭にカンパニーが出店、山内の文化祭で“モノを売る”こと自体が今までにはなかなか無かったのですが、去年のやまえこラスクから出店が始まりました。

天気が悪かったので、焼きそばの数を減らしたのですが、あっという間に70食が完売、大学イモは、自分達が収穫した芋でおばちゃんたちの大協力のおかげをもって100食ほどを売りました。味も好評でしたよ。文化祭での子ども達の出演はありませんでしたが、売り娘として大活躍しました。ただ、収益はあまり無く・・・、地域活性と自分達のための楽しい一日でした。



## 2012 地域活動福祉フォーラム in しが での発表

11月19日

県社会福祉協議会主催のフォーラムが、県立長寿福祉センターでありました。テーマは「一人ひとりの幸せを考える～人とのふれあいから感じる幸せ」でした。午前の全体会では、やまえこ活動の目的、概要を約600人の参加者にお伝えしました。午後からの分科会では、「子どもの生きる力を育む」テーマの分科会でしたが、関係が希薄化している社会の中で、やまえこがシニアの力を最大限に生かそうとしていることが、多くの方たちから評価されました。幸せは物質的なものより“人とのつながりの中での自分の居場所や役割である”そして一人ひとりの自信が地域を元気(健康)にすることを伝えました。

幸せ風船は、豊橋や  
長野にも届きました。



あなたも仲間 夢と感動と潤いを届ける 山内エコクラブ 随時メンバー募集してます。

事務局 〒528-0208 滋賀県甲賀市土山町黒川 2063 竜王真紀

URL:<http://www3.to/yamaeco> 電話 090-7966-2262

メール [ryuoh-mtm@maia.eonet.ne.jp](mailto:ryuoh-mtm@maia.eonet.ne.jp)